

今が省エネ投資の最大のチャンス

平成26年度補正予算で、経済産業省管轄の約930億円にのぼる大規模な省エネ設備導入事業が決定しました。過去2度の電気料金値上げで、北海道の経営者にとって電力コストの削減は必須。このチャンスは是非活かしてください。

安倍内閣はこのほど、緊急経済対策として超大型の平成26年度補正予算案を成立させました。その大きな柱のひとつが「地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」です。この事業は中小企業・エネルギー多消費企業が行う100万円以上の省エネ工事を対象に設備費用の2分の1（大企業は3分の1）を補助するというもので、予算規模は929億5千万円と非常に大きく、関係者の間では、例年に比べ採択率も高いのではと期待されています。公募の詳細については2月中に判明し、3月に入ってから公募開始となる見込みです。

平成27年度予算になると省エネ投資への制度は「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」が適用となり、補助率3分の1、補助下限300万円と今回の補正予算に比べると条件は厳しくなります。予算規模も410億円と半減し、新年度の予算計画で準備している全国の企業からの申請が殺到すると、当然ながら競争率も高くなります。

今回の補正予算に向けては、まだ全国でも準備している企業は少なく、これほどの大型予算を短期間で執行するからにはハードルも低いものと予想されます。事業所・工場・ホテル・商業施設のLED化や冷凍機器、空調設備の更新など省エネ設備の導入は今回の補正予算が最大のチャンスです。2月中に導入機器を決定し、見積もりができていれば、3月に予想される公募期間でも補助金申請が間に合います。まずは急ぎ、機器選定と省エネ設備の見積りを準備してください。あかりみらいがお見積り、補助金申請手続きのアドバイスをいたします。このチャンスを逃すことなく、いまずすぐお問い合わせください。

㈱あかりみらい エネルギーコンサルタント
代表取締役 越智文雄

●プロフィール

- 1957年生まれ、B型
- 1980～2009年北海道電力、電気事業連合会勤務
- 2008年北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長
- 北海道観光ホテル・旅館 地球温暖化対策協議会事務局長
- ニセコ町環境エネルギー戦略アドバイザー
- 札幌市立大学大学院デザイン研究科非常勤講師
- 札幌なかにかができる経済人ネットワーク主宰



時計台のLED化をプロデュース

検索 → あかりみらい

お問合せ 011-876-0820

2/12(木)、14時～16時か
2・7にて支援施策の最新情報
をお届けする「支援制度セミナー」を開催します。



●基調講演

フリーキャスター・気象予報士
菅井 貴子さん

お問合せ・お申し込みは011-251-5181まで

2015年（平成27年）2月9日

TSR情報

続報 中小企業にとって最大の省エネ投資チャンス！ 3月16日公募開始！「地域工場・中小企業等の省エネ設備導入1/2補助」

安倍内閣の緊急経済対策として、LED・空調・冷凍・ボイラーなどへの大型補助金制度が決まりました。現時点で公表されている公募概要は以下のとおりです。（2月28日現在）

詳しくは https://sii.or.jp/category_a_26r/（管理団体 環境共創イニシアチブHP）

申請には先ず補助対象になるか、中小企業法に定められる中小企業に当たるかどうかが確認します。中小企業にあたる場合には、次にA類型で申請するかB類型で申請するかを検討します。中小企業対象のA類型は設備費に対して2分の1（大企業は3分の1）の助成金ですが工事費は対象となりません。補助金支給の上限は1.5億円。下限は50万円。ただし対象機器は最新モデルの省エネ型機種に限定され、証明書発行団体の性能証明書がでるものが対象となります。よって性能評価されない製品や、旧タイプのもの等は対象になりません。（くわしくはメーカーのA類型リストでの確認が必要です）

A類型の利点は申請方法が比較的簡便で確実性が高いことです。証明書の出る機種を選択し、規定どおりに、要件に合致した申請ができれば約2～4週間で採択結果を受けとれます。

B類型は工事費も補助対象となり、中小企業ならばこちらも2分の1（大企業は3分の1）の補助率です。補助金上限は50億円。下限は100万円。対象機種に性能証明書は不要。ただし、こちらの方の申請から精算までの過程は、制度が簡素化されたA類型に比べると格段に難しくなります。公募期間も短く、申請後の審査で省エネ率、省エネ量他の評価基準によっては不採択になる場合もあります。6月中旬予定の採択通知後にも、管理団体とのやりとりが長く続きます。以上のような時間と労力、管理団体との複雑なやりとりを嫌って申請作業とその後の対応を申請代行会社に依頼する企業も多くなってきています。

これらと比較すると、工事費の比率が大きいか小さいか、選択機種が性能証明の対象になるか、最新モデルのため価格帯が高くなるかどうか等も含めて総合的な検討にはなりますが、中小企業が早期の工事着工と機器費用の2分の1という確実な補助金獲得を目指す場合にはA類型を選択することをお奨めします。早く工事が完了すれば、省エネ効果もその月から出るので、B類型の工事まで何か月間もかかる手続きを待つよりも着実に投資回収できることとなります。

A類型は一種のエコポイント型景気対策であり、3月16日の公募開始から予算が無くなるまで継続。つまり早い者勝ちとも言えます。B類型は3月16日～4月15日が公募期間。いずれも次回「要領」の公開は公募直前になる可能性もあり、とにかく一日も早い計画と準備が重要です。

㈱あかりみらいでは各メーカーの協力により各種A類型対応機器のお見積もりをいたします。補助金申請のお手伝い、アドバイスもしますので、LED化、空調・冷凍機器・ボイラーなどの更新をお考えの方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

お問い合わせ先：011-876-0820 akari@akarimirai.com

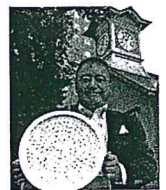
検索 → あかりみらい

検索 → 菅井貴子のよくわかる補助金解説

㈱あかりみらい エネルギーコンサルタント
代表取締役 越智文雄

●プロフィール

- 1957年生まれ、B型
- 1980～2009年北海道電力、電気事業連合会勤務
- 2008年北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長
- 北海道観光ホテル・旅館 地球温暖化対策協議会事務局長
- ニセコ町環境エネルギー戦略アドバイザー
- 札幌市立大学大学院デザイン研究科非常勤講師
- 札幌なかにかができる経済人ネットワーク主宰



時計台のLED化をプロデュース

2015年（平成27年）3月9日

TSR情報